

科目区分	専門分野	履修学年	2 年前期	単位数	1	時間数	30
科目名	小児看護概論保健			担当教員	専任教員		
使用 テキスト	1) メディカ出版 小児看護学①小児の発達と看護 2) メディカ出版 小児看護学②小児看護技術 3) メディカ出版 小児看護学③小児の疾患と看護						
テキスト 以外の教 材・参考 書等	1) 医学書院 系統看護学講座 小児看護学① 小児臨床看護各論						
授業の概要及び到達目標							
<p><u>授業の概要</u></p> <p>少子高齢化の中生まれ育った学生たちであることを踏まえる。自分たちが育った環境、生まれてからこれまでの年齢に成長するまでに、どのような発達を遂げてきたのか考えながら講義をすすめる。そうすることで、小児の成長・発達を理解しやすいようにする。小児看護の対象を理解し、小児の成長・発達を促すための小児と家族（養育者）への看護について理解できることを目的とし、既習学習の社会保障、公衆衛生も関連付けることで、少子化問題や対策についても考えられるようにする。</p> <p><u>到達目標</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小児看護の対象、小児看護の特徴について理解できる。 2. 子どもを取り巻く社会の特徴、小児看護の今後の課題について述べる事が出来る。 3. 小児各期の成長・発達の特徴について理解できる。 4. 小児各期の成長・発達を促す看護について理解できる。 5. 小児保健対策について理解できる。 6. 小児を取り巻く家族環境、家族の意義について理解できる。 							
評価方法	筆記試験						
備考	関連科目：家族社会学, 人間関係論（心理学）, 社会保障, 社会福祉, 公衆衛生						

回数	授業計画 学習内容	備考
1	小児看護の特徴と理念 1) 小児看護の対象、小児看護目標と役割 2) 小児看護の変遷と現代の小児看護と課題 小児看護の倫理	
2	1) 児童憲章 2) 児童の権利に関する条約 4) インフォームド・アセント 5) アドボカシー	
3	子どもの成長・発達と看護 1) 成長・発達とは、成長・発達の進み方 2) 成長・発達に影響する因子	
4	3) 成長・発達の評価 4) 発達区分と発達課題、理論 ①エリクソンの発達課題	
5	②ピアジェの認知発達理論 ③ブリッジス情緒の分化 ④愛着行動	
6	小児各期における成長発達	
7	1) 新生児期、乳児期	
8	2) 幼児期	
9	3) 学童期	
10	4) 思春期	
11	小児の遊びの発達	
12	小児と家族を取り巻く社会 1) 諸統計 ①出生と子どもの死亡率	
13	2) 法律と保健対策 ①児童福祉法 ②母子保健法 ③医療費支援	
14	④予防接種 ⑤学校保健 ⑥児童虐待防止法 3) 子どもと家族	
15	終講試験 まとめ解説	